



熱い 厚い 体験する夏へ

校長 高山 直也

先日「夏至」の日の給食時に、校長室から全校にオンライン生配信で、「げし？」という話をしました。昼の「Principal Time(校長タイム)」。PowerPointのスライドを使って、1年生から6年生まで分かりやすく話をしています。6、7月は毎週、話題は色々時事片々、私が常々伝えたいと思っている、「人間・地球・平和」&「命」を題材にしています。6月から始めたので、これまでのお題は、「6年生移動教室」・「梅雨って何?」「夏至」の3つです。6年生は箱根で何を学んでくるのか、梅雨の雨は生きる者の命の水、夏至の太陽と影のしくみ=暑さ&文化…。子供たちの反応は上々で、「楽しみにしています!」と言ってくれるので、さらにやる気になりますね。本当に素敵な子達です。



さて、かなり長い前置きでしたが、いよいよ7月、夏休みが目前です。今年の夏は何を学習しますか? 学習? 休みじゃないの?…いえいえ、長期の休みだからできる『ザ・体験の夏』のことです。人間の脳は12歳にかけて、もの凄い勢いで発達します。体験と知識は表裏一体、五感で感じたことは脳に直結します。だから学童期には特に、たくさんの体験をしてほしいのです。1,2年生は、何が何でも自然の中で見る・触る・感じる体験を。海・山・川・森、虫見て逃げない、魚つかんで、カブトムシつかんで、海の水味わって、川の流れを歩いて、山頂の冷たい空気を感じましょう。3,4年生はもっとダイナミックに自然を体験、キャンプ・ハイク・激流下り・シーカヤックもいいですね。知的に港区探検、東京都探訪も社会科につながります。5,6年生は夏期講習で忙しいかもしれませんが、博物館・歴史探訪・平和学習・ワークショップに参加するのもおもしろい。旅行先でも意識してその土地の文化・歴史に触れましょう。どの学年の子も、モノづくり・描く体験も時間のある夏は最高です。都会の子は、「親が体験する機会を意識的につくってあげる」ことが大切。小学校の貴重な夏は、その学年でたった1回だけです。体験をたくさんさせて、子供に『本物の知識と生きる力』を授けましょう。熱くて厚い夏へ!



高松アカデミー

教務主任 三辻 由貴

港区では、カリキュラムマネジメントを通した幼・小・中一貫教育を推進しています。

高松アカデミーは、近隣の高輪幼稚園・白金台幼稚園・高輪台小学校・白金小学校・高松中学校の二園三校で構成されています。幼・小・中の「豊かな学び」の充実を目指して連携を強化し、「地域に信頼され、子ども・保護者と共にある幼稚園・小・中学校～豊かに学び、豊かに生きる子供を育成します～」をテーマに十二年間を見通した実践を行っています。

今年度も幼稚園・小学校・中学校の保育や授業参観を年3回実施します。参観後は、小グループに分かれて、『道徳教育の推進』『主体的、対話的で、深い学びの実現』『健康な体づくり』『就学前教育の充実』の視点で話し合います。就学前の学びをどのように小学校へつなげ、さらに中学校でその力を伸ばしていけるか、連携を図る大切な機会となります。引き続き、子供たちの学びを深め、連携した教育ができるよう研究を深めていきます。



白金小学校

Twitter

毎日更新しています。
学校HPからも入れます。